

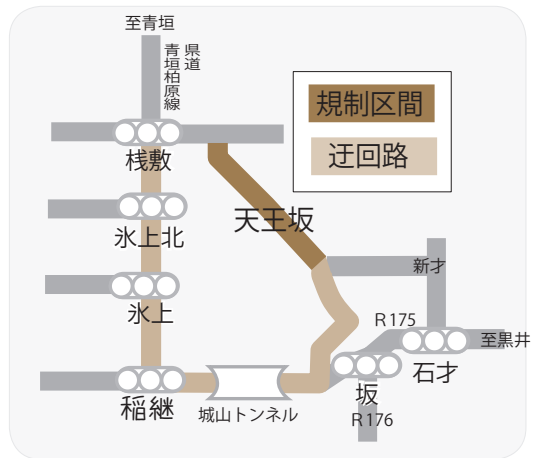
天王坂「全線通行止め」のお知らせ



市では、「天王坂配水池築造工事」にともない、次の日程で道路の通行止めを行います。

期間中は、ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

- 通行止期間 / 平成 25 年 12 月 2 日（月）～平成 26 年 2 月 28 日（金）
- 規制時間 / 午前 9 時～午後 5 時まで
- 規制区間 / 県道賀茂春日線（天王坂）
- 規制方式 / 全線通行止め
- ※規制時間外、年末年始（12/21～1/4）は通行可
- 規制除外 / 歩行者・自転車・原付・自動二輪



図水道部工務課（柏原支所内） ☎ 72 - 0605

市政情報

丹波市中小企業資金融資制度

平成 25 年度融資利率：年 1.15%（固定）

- 資金使途 / 運転資金・設備資金
- 融資限度額 / 運転資金 1,500 万円以内
設備資金 3,000 万円以内
- 融資期間 / 運転資金：5 年以内
設備資金：10 年以内
- 取扱金融機関 / 但馬銀行、みなと銀行、兵庫
県信用組合の柏原支店、中兵庫信用金庫本店・
市内各支店、丹波ひかみ農協本店・市内各支店
- その他 / 運転資金において、信用保証協会の
保証を付する場合、保証料の 3 分の 1 を市が補
助する制度があります（平成 25 年度創設）。

丹波市設備投資支援事業補助金制度

- 対象事業 / ①店舗等の新築及び改装事業
②福利厚生施設の整備事業
③合理化施設（50 万円以上の機械設備等）の
導入事業
- 補助率及び補助金額
・丹波市中小企業資金融資制度の設備資金を利用する場合…事業費の 10%以内（上限 50 万円）
・上記以外の場合…事業費の 5 %以内（上限 30 万円）
- ※補助金の交付を希望する場合は、必ず事業着手前に交付申請書を提出してください。
- 図新産業創造課（春日庁舎内） ☎ 74 - 1064

中小企業（従業員 50 人以下）の経営安定と事業拡張を支援します

全国公募第 8 回丹波美術大賞展 入賞入選作品を発表します

全国公募「第 8 回丹波美術大賞展」の公開審査会が 10 月 10 日（木）に行われ、全国から集まった 241 点（平面 224 点、立体 17 点）の



大賞「鳥の記憶（I）」

作品の中から、大賞 1 点、優秀賞 3 点、入選 52 点が選ばれました。
大賞に輝いたのは、山口敏行さんの作品「鳥の記憶（I）」。「ロボットのようなニトリが、現代情報社会を象徴する」などと評価されました。

- ◎大賞（平面） / 鳥の記憶（I） 山口敏行さん（三木市）
- ◎優秀賞 / 景〔6 人と・・・〕 兼子芳年さん（倉敷市）、エコール・ド・パリ ノスタルジー 河田 和 洋（豊岡市）、SNOW WORK：NO. 2012 - 1 阪本幸円さん（福井市）
- ◎市内の入選者（平面） / 崩れゆく集落 A 足立均さん（青垣地域）、雪の日 酒井義己さん（山南地域）、居酒屋にて 白井邦昭さん（氷上地域）、風景坂のある街 植山 孝さん（山南地域）、セメント工場の一隅に 足立 進さん（氷上地域）、（立体） / 言ノ葉の精霊 田中ひろやさん（山南地域）

絵画「鳥の記憶（I）」が大賞を受賞

まごころのさと 丹の里人権フェスティバルを開催

- と き / 12 月 8 日（日）
午後 0 時 30 分～
- ところ / 春日文化ホール
- 内 容 /
①人権作文・ポスター・標語・社会を明るくする運動作文表彰②中学生人権作文朗読
③事例発表
④人権コンサート
◇テーマ / 「心から心へと伝えられるあいのうた」
◇講師 / 浄土真宗本願寺派住職 やなせななさん
※手話通訳、要約筆記あり。
※託児をご希望の方は、事前に市人権・同和教育協議会までお申し込みください。

同日開催 特設人権相談所

午前 9 時～11 時 30 分
春日住民センター

- やなせななプロフィール -
30 歳の時に子宮体がんを克服。
尼僧の視点から生と死を見つめる
いやしの歌を数多く制作する
など活躍中。

図人権啓発センター（氷上庁舎内）

☎ 82 - 0242
市人権・同和教育協議会
☎ 72 - 2770



シンガーソングライター
やなせなな

「心から心へと伝えられる あいのうた」

クローズアップ 1 地域おこし協力隊 初代隊員に高橋さん（千葉県） ー森林を生かして地域を元気にー



都市部で暮らす人材を新たな担い手として受け入れ、地域の活性化をめざす「地域おこし協力隊」に、千葉県松戸市出身の高橋秀彰さん（31）が就任しました。

市内初の地域おこし協力隊隊員として、林地残材の活用推進や未利用材の燃料利用などに取り組み、木質バイオマス資源を活用した起業をめざします。



市内初の地域おこし
協力隊員に就任した
高橋秀彰さん

高橋さんは、出版社での勤務や IT 関連会社の起業を手がけた後、「自然を身近に感じながら生活をしたい」と、茨城県で 1 年間、農業に従事。その後、市内の豊かな森林資源を生かしたまちづくりに関わりたいと、地域おこし協力隊に応募しました。高橋さんは、「木質バイオマスを地域に定着させ、世界中から注目を浴びるまちにしたい」と抱負を話しました。

木材専門家 能口秀一さん（写真左）から、間伐材からつくられた木工品の説明を受けるようす。高橋さんは、一定の期間、能口さんのもとで研修に励みます



クローズアップ 2 天皇陛下に粟を献上 足立梅則さん（青垣地域） ー丹波市での献穀は 10 年ぶりー

足立梅則さん（64）（青垣地域）が栽培した粟「黄金糯」が、新嘗祭の献穀粟に選ばれ、10 月 24 日（木）、皇居内で天皇陛下に献穀されました。

新嘗祭は、天皇陛下がその年の新穀を神前に供えて収穫を感謝する宮中行事で、丹波市からの献穀は 10 年ぶりです。



市長に献穀の報告
を行うようす。左
から、足立さん夫
妻、辻市長



9 月 19 日（木）、梅谷丹波県民局長らが参加し、
献穀される粟の抜穂会が行われました

足立さんは今春、「黄金糯」の栽培を開始。収穫後は、献上する粟をピンセットで一粒ひとつぶ丁寧に選り抜きました。足立さんは、「無事に献穀できたのも、栽培に携わった多くの関係者のおかげです」と笑顔で話しました。